

不適合情報

2026年2月25日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉複合建屋(管理区域)北西側階段に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2026/02/19	
2	3号機	サービス建屋ホットラボ送風機(B)電動機負荷側軸受部に、微量な油漏れを確認した。当該電動機を点検・修理。	2026/01/13	
3	4号機	原子炉建屋1階(管理区域)大物搬入口エリアの床面に、扉の枠から浸入した雨水(約120cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該浸入箇所を修理。	2026/01/08	
4	4号機	電解鉄イオン注入系の水抜きにおいて、排水が止まらないことを確認した。調査の結果、原子炉補機冷却水系鉄イオン入口弁(A)および調整弁(A)、タービン補機冷却水系鉄イオン入口弁および調整弁のいずれかのシートバスと推定。当該弁を点検・修理。	2026/01/09	
5	5号機	サービス建屋宿直所執務室に設置しているプラント内放送設備(拡声装置)が、拡声機能および通話機能の一部が使用できないことを確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、当該エリア周辺に別の使用可能なプラント内放送設備があるため、影響なし。	2026/01/11	
6	6号機	中央制御室において、制御棒挿入後の原子炉圧力降下操作時に、電気油圧式制御装置軽故障(相互診断異常)の発報を確認した。調査の結果、原子炉の実際の圧力と設定値との差を診断しているプログラムの一部に、予備データが入力されていたことが判明。当該ソフトウェアを改修済み。	2026/02/13	
7	6号機	中央制御室にて、発電機出力上昇操作を行っていたところ、次に引き抜く制御棒グループを選択した際にマルチロッドブロックモニタ下限警報、制御棒引抜阻止警報が発報したことを確認した。調査の結果、制御棒動作の動作・位置情報を管理するシステムにて、制御棒の位置情報信号を送る際にわずかな信号の遅れが生じたことが原因と判明。当該ソフトウェアを改修済み。	2026/02/17	